

第三回定期大会が選んだ 動労千葉の今年の10大ニュース!

日刊
動労千葉

79.12.19

No. 303

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二二五八・九・(公衆電話)三三二七二〇七

一位に選。30結成大会

第三回定期大会は、去る12月11日・12日の両日、千倉町で開催され、圧倒的に成功しました。この大会において、「日刊」編集委員会は、本部役員、並びに大会代議員全員にこの一年余りにわたる動労千葉の闘いの10大ニュースを選んでもらうため、アンケート調査を実施しました。そして、次のような結果を得ることが出来ました。全代議員の皆さんの御協力に感謝しつつ、「第三回大会代議員が選んだ動労千葉の10大ニュース」としてここにその結果を報告します。

1位は、なんといつても 30動労千葉結成大会!

アンケート調査は、全代議員六十名、本部役員十二名、計七十二名を対象として大会第一日目に実施されました。

大会の白熱した討論とも相まって、アンケート調査は、順調に進み、回収率一〇〇パーセントと高い関心のもとで行なわれました。

アンケート調査の方法は、「日刊」編集委員がこの一年間の主な出来事や闘いを一月から十二月まで、順を追って40項目に集約したものの中から調査対象者が自由に10項目をピックアップするといふものでした。

その結果、七十二名中六〇名の方が「30動労千葉結成大会」に投票し、第一位となりました。去る3月30日、「本部」反動集団のセクト的引き廻しと規約・規則無視、動労千葉排除策動を断固はねのけ、真の労働運動をめざす動労千葉一四〇〇組合員の熱気と緊張と興奮。

闘いの目標と現実のし烈な闘いとその中における連帯と支援の拡大。

30結成大会を大きな契機とする新たな戦闘的労働運動の潮流は、確実に前進を開始しました。

「30結成大会」は、このような意味で、当然にも10大ニュースの第一位に選ばれたものといえます。

「本部」反動集団の本質を見抜いた、アンケート結果!

二位以下については、別表の通りですが、このアンケート調査の結果は、この一年余、各支部・分科会はもとより常に全組合員の先頭で闘い抜いてきた本部役員、並びに大会代議員の闘うもののみが持つ自信と確信に満ちた正しい結果として集約されたと考えます。

すなわち、一位から順に高位は、全て現実の「

本部」反動集団との日常的な闘いの中でかちとった成果と動労千葉の具体的な闘い(例えば、10・22ストライキなど……)をあげています。これとは、全く逆に一票も投じられないか、もしくは、極く少数のものに、「本部」反動集団による「千葉事務所開設」や「事実上の執行権停止を確とした一〇二定中委」などがあります。

第三回定期大会の圧倒的成功にふまえ、80年代を闘う自前の労働運動を創ろう!

われわれは、10・22第一波、11・1第二波をもつて動労千葉としての独自の闘いを大きく踏み出しました。

この二波の闘いに対する大量不当処分攻撃を粉碎し、80春闘、国鉄35万人攻撃粉碎、第二次運輸保安闘争貫徹、三里塚・ジェット闘争を闘い抜き80年代を闘う自前の労働運動を創ろう。

動労千葉の今年の10大ニュース

- 1位 30動労千葉結成大会の開催
 - 2位 公労委の認知を勝ちとる。
 - 3位 10・22第一波ストライキへの決起
 - 4位 4・17津田沼襲撃事件
 - 5位 各支部、各分科会の結成
 - 6位 「80年代への自前の労働運動」めざした第三回定期大会開催
 - 7位 4月28日～5月1日の「本部」による大量破壊「オルグ」
 - 8位 「本部」の不法不当な組合運営に抗議して、中江本部副委員長の辞任
 - 9位 4・11錦糸町駅襲撃事件
 - 10位 水本脱会・三里塚連帯・安定宣言廃棄・動労大改革の4大方針を決定した2・10第三回臨時地本大会
- 次点 「日刊」の発刊